



# 香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



平成 22 年 7 月 24 日撮影（高松市香南町）

## 目 次

- 1. 平成 21 年度農地集団化事業研究会及び第 42 回通常総会 .....2
- 2. 平成 22 年度第 1 回監事会開催 .....2
- 3. EM泥だんご投げ大会 .....3
- 4. 平成 22 年度香川県土地改良管理円滑化事業推進委員会  
及び香川県土地改良換地等強化事業推進委員会開催 .....4
- 5. 用水路やため池では遊ばないでね！  
～土地改良施設安全管理推進啓発ポスター配布～ .....5
- 6. 「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を  
利用した地域の水管理」の研修会を実施中 .....6～7
- 7. 農業農村工学会農村計画研究部会 第 32 回現地研修集会のお知らせ .....8～9
- 8. 会と催し .....10

## 中国四国農地集団化協議会 平成 21 年度農地集団化事業研究会及び第 42 回通常総会 〈永年勤続者表彰に東かがわ市の坂東正明氏が受賞〉

中国四国農地集団化協議会（会長 羽田 皓）の第 42 回通常総会が、去る 7 月 22 日「水土里ネットひろしま」において開催された。

最初に、開催県の広島県農林水産局農林整備部農林整備課森光課長から、歓迎の挨拶があった後、農地集団化事業研究会に移り、農事組合法人「ファーム西田口」代表理事の小池智慧登氏から『法人設立に向けた基盤整備事業と法人経営』と題した講演があり、法人設立までの苦勞、問題点及び法人経営の現状について説明を受けた。



その後、総会に移り水土里ネットひろしまの高橋副会長・常務理事から挨拶があった後、中国四国管内の 8 名の方々に農地集団化永年勤続表彰が行われ、夫々に表彰状と記念品が渡され、本県からは東かがわ市事業部経済課課長の坂東正明氏（写真中央）が表彰された。また、事務局から全国農地集団化協議会の優良地区会長表彰伝達、永年勤続者会長表彰被表彰者紹介があった。

続いて、公務ご多忙の中出席された中国四国農政局の大木管理課長から挨拶があった後、平成 21 年度事業実績並びに平成 22 年度事業計画（案）、役員改選についての議案審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。2 日目は前述の農事組合法人「ファーム西田口」での現地視察が行われ、小池代表理事から地区の概要及び今後の法人の経営目標等の説明を受けた。

## 平成 22 年度第 1 回監事会開かれる

本会の平成 22 年度第 1 回監事会（平成 21 年度決算監査並びに平成 22 年度中間監査）が、去る 7 月 22 日午前 10 時から本会会議室において開かれた。

当日は、森川代表監事より監査方法について挨拶があり、稲尾監事、本年度就任された菰渕監事、大山会長出席のもと平成 21 年度の業務運営及び会計経理並びに財産目録について監査が実施され、諸帳簿、証拠書類等いずれも適正に処理されていることが認められた。続いて、平成 22 年度の中間監査が行われ、これも適正に処理されていることが認められた。



監査終了後、森川代表監事より「農業農村整備事業予算の削減で業務運営の苦しいなか、事務処理は適切に行われているが、今後とも会員の付託に応えるため、本会業務の推進になお一層の努力をお願いする。」また、菰渕監事からは、「新規事業に積極的に取り組み、事業量の確保を図ること。」との講話があった。最後に、大山会長からお礼の挨拶があり監事会を終了した。



# EM 泥だんご投げ大会

7 月 19 日（海の日）、高松市新田町の「アサザ」の里・久米池において、水質浄化活動の一環として EM 泥だんご投げ大会が行われた。

この日は、梅雨が明け久々に晴れわたり夏の太陽が照りつけ暑い一日となったが、家族連れや地元の小中学生、香川県立桜井高校の生徒など地域内外から大勢の人々がイベントに参加した。

開会セレモニーでは、久米池水利組合の植村組合長代理をはじめ、水土里ネット古高松の菰渕理事長、NPO 香川県 EM 普及協会の宮武会長、高松市立古高松中学校の安田校長、高松市立古高松南小学校の香西校長が挨拶された。

その後、EM 泥だんご投げを開始すると子ども等と一緒に、大人たちも童心に返り池に浮かべた的を狙って一斉に投げ込んだ。

イベント会場では、ボートに乗って EM 泥だんごを投げ込む体験のほか EM 泥だんご作りや米のとぎ汁活性液作りを体験するコーナーなどが設けられ賑わった。

また、参加者には家庭での生ゴミ処理や生活雑排水処理に EM ぼかしと EM 活性液が配られた。



久米池の東屋周辺にて



的に向かって!!



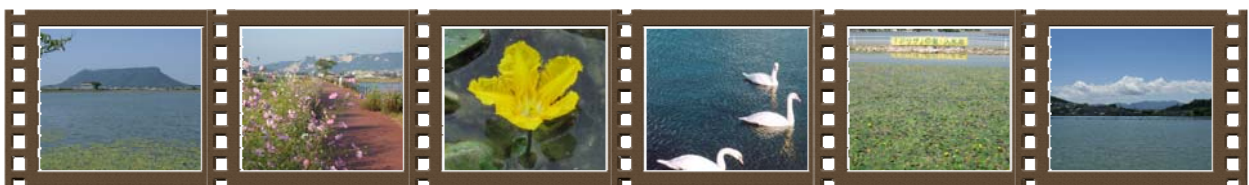
◀ EM だんご作りを体験



◀ ボートに乗って EM 泥だんごを投入

**「アサザ」の里・久米池**

久米池の水質が流域内の生活雑排水の増加によって「アオコ」の異常発生や魚の大量死とともに、ひどい悪臭が発生。一方で、希少植物である「アサザ」が自生していることが明らかになったことから、平成 15 年 5 月、ため池環境保全組織“「アサザ」の里・久米池”を設立し、久米池における様々な活動（アサザの保全、EM 菌による水質浄化、学校教育との連携、堤防の草刈りや清掃、花壇の植栽や灌水等）を展開し、地域の環境保全活動を主導的に支えている。



## 平成 22 年度香川県土地改良管理円滑化事業推進委員会 及び香川県土地改良換地等強化事業推進委員会開催

去る 7 月 20 日、本会会議室において香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会及び香川県換地等強化事業推進委員会が開催された。午後 1 時 30 分、土地改良施設管理円滑化事業推進委員会を開会。この推進委員会は、土地改良施設の円滑な管理を図るため、土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等対策の内容について検討を行うことを目的としている。



開会にあたり、本会山地常務理事より土地改良施設の適切な維持管理体制が図られるよう目指しているので関係各位の協力をお願いしますとの挨拶があった。続いて、中国四国農政局農村計画部土地改良管理課大木課長、中国四国農政局土地改良技術事務所大澤所長、香川県を代表して農政水産部土地改良課高尾課長よりご挨拶をいただいた後、下記の項目について審議した。

1. 委員長及び委員長職務代理者の選任について
2. 平成 21 年度土地改良管理指導事業及び土地改良相談等事業実績について
  - ・土地改良施設、定期診断 130 施設、要請診断 7 施設
  - ・土地改良施設維持管理適正化事業、10 団体 12 施設 113,400 千円
  - ・土地改良事業の相談、42 件
3. 平成 22 年度土地改良施設管理円滑化事業実施計画（案）について
  - ・土地改良施設、定期診断 138 施設
  - ・土地改良施設維持管理適正化事業、11 団体 15 施設 107,600 千円

午後 3 時 30 分からは、換地等強化事業推進委員会を開会。この推進委員会は、香川県における換地等事務の適正かつ円滑な推進を図るため、換地事務の指導及び農用地の利用集積の技術的指導並びに換地に関する異議紛争の処理に関する内容について検討を行うことを目的としている。

始めに、水土里ネット香川山地常務理事より開会の挨拶の後、中国四国農政局農村計画部土地改良管理課大木課長、高松法務局民事行政部不動産登記部門本田首席登記官、香川県農政水産部土地改良課高尾課長よりご挨拶をいただいた後、下記の項目について審議した



中国四国農政局農村計画部  
土地改良管理課の大木課長

1. 委員長及び委員長職務代理者の選任について
2. 平成 21 年土地改良換地等促進事業実績について
  - ・換地計画作成等研修会及び換地計画指導者研修会の開催
  - ・換地処分地区 17 換地区 151.0ha
  - ・農地利用集積推進対策地区 2 地区の実績報告
3. 平成 22 年度土地改良換地等強化事業実施計画（案）について
  - ・換地計画継続地区 14 換地区 254.6ha、新規着工地区 3 換地区 21.9ha
  - ・農地利用集積推進対策地区の選定

両推進委員会ともに、推進委員長には水土里ネット香川の山地常務理事、委員長職務代理者には水土里ネット香川の湊参事が満場一致で選任された。



## 用水路やため池では遊ばないでね！ ～土地改良施設安全管理推進啓発ポスター配布～

農村における住宅の増加と市街化の進展などによる環境の変化に伴い、ため池、水路等の農業用施設における水難事故が後を絶ちません。

本県においても、昨年度では 9 件（死者 9 人、怪我 1 人）の事故が発生しています。子どもやお年寄りの用水路やため池への転落など、農業用施設での事故への注意が必要となります。

このため農業用施設を管理する土地改良区の皆さんは下記事項に留意され、施設の安全管理を一層強化した事故防止に万全を期すようお願い致します。

### 施設管理者は危険箇所の点検 や広報活動などに務める

- ① 農業用排水路などの危険箇所を点検し、フェンス、床版、スクリーンなどの安全を要する箇所については、早急に当該施設を設置するよう務めるとともに、定期的に危険箇所を巡回し、その管理を十分に行ってください。

なお、危険箇所とは、農業用施設が次に挙げる場所のいずれかに接している箇所のほか、事故防止用安全施設の設置を必要とする箇所をいう。

- ・ 通学路など児童が通行する場所
  - ・ 日常子供が遊んでいる場所
  - ・ 保育園、幼稚園、小学校等
  - ・ 住宅地等
- ② 地域住民に対し、事故防止の周知徹底を図るため、危険箇所に立て札を設置するとともに、広報活動を積極的に行い、ポスターを掲示して注意を呼びかける。
  - ③ 農業用施設の巡回、危険箇所の早期発見、保護者等に対する注意の呼びかけをするとともに、PTA等の地域団体の運動に積極的に協力して事故防止に努める。



## 「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を利用した地域の水管理」の研修を実施中

本会では、JICA 四国支部より委託を受け平成 22 年度より 3 年間、アジア、中近東、アフリカ、中南米等の開発途上国が経済、社会開発を行うために必要とする人材の養成に協力することと、これらの国々との友好親善を深めることを目的として、本年度はミャンマーほか 6 カ国より 10 名の研修生を受け入れている。



県庁を表敬訪問



アクションプラン発表の様子

香川県は日本でも最も雨の少ない地域の 1 つで水不足に悩まされながら、ため池を造りさらに水を何回も利用し、少ない水を有効利用する水利システムをつくりあげている。香川県におけるかんがい水のため池依存率は約 50% で、全国平均は約 10% であり、非常に高いことがわかる。なお、香川用水通水前は 70% であった。かんがい水のため池依存率は日本一であり、水不足により長い間培われたため池地域の水管理に関するノウハウを学ぶためにアジア・アフリカの農業省などの技術者である JICA 研修生が 10 名来ています。研修は 7 月 26 日から 8 月 20 日までとなっています。今回の研修内容の特徴は単に水に関する物理的な技術のみでなく水管理に関するソフト面がかなり含まれていることです。土地改良区など水利用者の役割の重要性の認識が高くなっていると思います。研修の講師の素晴らしい講演を聞いて、昔の水利慣行には今でも多くの学ぶべき真理があると思いました。水不足に基づく紛争解決には、水不足が起こる前にあらかじめ規則を決めておくこと、また、水不足のとき水田への水配分に際しては、公平且つ透明性があることがわかります。



香川用水資料館にて

線香をともして給水時間を計り、水田への水の流入開始や終了のときは太鼓や拍子木をたたいて知らせるなど誰でも確認しやすいように水配分が行なわれていることがわかります。すなわち前に述べた透明性が確保され、皆さんが納得しやすいようになっていることです。このことが紛争を拡大せず且つ地域が発展する方向だと思います。また、極端な水不足の場合犠牲田を設けるなど共倒れを防止し、地域全体としての益も考慮し、地域が発展する道が考えられていたと思います。

26 日午前には県庁に西原農政水産部長を表敬訪問し、そこでも早速質問も出て研修に対する熱心



さに皆様びっくりの様子でした。各人のアクションプランの発表会、香川県の水利慣行の関する討論では活発な議論となりました。香川用水資料館の農業用水に関する資料を見ながらの研修では、昔の人の知恵とともにため池造りの苦勞も知ることができました。

また、日本一のため池である満濃池の見学も行ないました。池敷面積の大きさもさることながら、ため池を含む景観が良いことに感心したり、感銘したりしておりました。満濃池土地改良区での職員からの説明に対して、研修生から多くの質問が出て、熱心さには感心しております。

本研修では、設計の技術レベルの高さと威容を誇る豊稔池および香川県の水不足に抜本的解決を与えている香川用水の視察も予定に入っています。研修生の皆様が立派な成果を納めることを願って止みません。

(執筆：コースリーダー 山口大学名誉教授 西山 壯一(元香川大学教授))



満濃池取水塔の中で説明を聞いている



水位の遠隔測定装置を見学  
(満濃池土地改良区にて)



もっこく池の集会室で熱心に質問する研修生



満濃池取水塔を見学して  
出てきたところ



	Thomas (MALAWI)	Nomaye (CHAD)	
金森国際協力専門員	Hassan (CHAD)	AOULED (DJBOUTI)	
KHANT (MYANMAR)	Simon (UGANDA)	Peter (MALAWI)	MWESIGA (TANZANIA)
Myat (MYANMAR)	西原農政水産部長	Angelica (KENYA)	西山名誉教授

## 第32回現地研修集会

## 水で結ぶ新たな絆を次世代に

主催：農業農村工学会農村計画研究部会

後援：中国四国農政局、香川県、水土里ネット香川  
農業土木技術者継続教育プログラム申請

日時：平成22年9月9日（木）～10日（金）

（研修集会） （現地検討会）

会場：アルファあなぶきホール 小ホール

趣旨：

ため池や農業用水路など先人の築いた貴重な土地改良財産（社会資本）を、次世代に継承していくことは我々土地改良従事者の責務である。これら社会資本について、良好な状態で保管理を行い、有効活用するためには、縮小社会の進行に伴い崩壊しつつある土地改良区や自治会など地域に残る「共」を再生し、「人」と「人」との関わりあいについて、もう一度見つめ直すことが極めて重要である。「人のつながり」から生まれる連帯感を育み醸成することこそ、新たな時代にふさわしい「魅力あるむらづくり」の基礎である。本研修では、数多くのため池と瀬戸内の風光に囲まれたみどり豊かな讃岐平野に息づく水の歴史や、利水の仕組みを軸とした農山漁村における営みについて紹介するとともに、香川県における先進事例や研究成果を学ぶことにより、参加者の知見を広げ、今後の農村計画に反映することを期待して企画した。

第一日目の研修集会では、「多様性を考える」、「香川県の農業農村整備の展開方向について」、「ため池を中心とした農村環境づくりを目指して」、「住民の創意と工夫による地域づくり」、「水圏環境改善技術の開発について」、「全国の農業農村を巡る情勢」等の講演・報告を行う。

第二日目の現地検討会では、研修集会に対応した整備事例、多様な主体が参画した活動事例等を見学する。

## ■ プログラム ■

## ■ 研修集会 平成22年9月9日（木）10：00～16：40

- |                 |                       |                   |
|-----------------|-----------------------|-------------------|
| 1. 基調講演         | 多様性を考える               | 香川大学長 一井眞比古       |
| 2. 基調報告         | 香川県の農業農村整備の展開方向について   | 香川県               |
| 3. 事例報告1        | ため池を中心とした農村環境づくりを目指して | 油井水土里保全組合 代表 牧野忠弘 |
| 4. 事例報告2        | 住民の創意と工夫による地域づくり      | 香川大学工学部 教授 白木 渡   |
| 5. 事例報告3        | 水圏環境改善技術の開発について       | 香川大学工学部 准教授 山中 稔  |
| 6. 全国の農業農村を巡る情勢 |                       | 農林水産省             |

## ■ 現地検討会 平成22年9月10日（金）8：00～15：40

豊稔池、満濃池、香川用水記念公園、香川用水調整池（宝山湖）、農地・水・環境保全向上対策油井地区

## ■ 参加費用

研修集会参加費 5,000円（参加費2,000円、テキスト代・資料代3,000円）

現地検討会 5,000円（うち昼食代1,000円、交通費3,600円、施設入場料400円）



**参加申込**

申込みは 1 日目のみ、または両日の選択が可能です。

参加をご希望の方は、別紙参加申込書ファイルに所要事項をもれなく記入の上、現地運営事務局まで E-mail または FAX でお送り下さい。原則として団体ごとにまとめてお申し込みいただきますよう御協力をお願いします。なお第二日の現地検討会につきましては、県外からの出席者を優先として受付を行います。バスの都合上先着 100 名に達し次第締め切りさせていただきます。あらかじめご了承ください。

- (1) 申込期限 **平成 22 年 8 月 27 日 (金)**
- (2) 申込先 農村計画研究部会 現地研修集会 現地運営事務局  
〒760-8570 香川県高松市番町 4-1-10  
香川県農政水産部土地改良課 担当：亀井、藤重  
E-mail : tochikai@pref.kagawa.lg.jp  
TEL. 087-832-3437 (ダイヤルイン)  
FAX. 087-806-0205

(3) 参加費の納入

参加申込票に記載している指定口座にお振り込みまたは当日現金にてお支払いいただくようお願い申し上げます。なお振り込みの場合の手数料については、参加者のご負担をお願いいたします。

(4) 申込の変更・取り消し

9 月 3 日 (金) までに現地運営事務局まで E-mail または FAX にてお申し出ください。それ以降の取り消しについては、参加費の返還ができませんので、あらかじめご了承ください。

なお、台風等の災害で現地研修集会にご参加いただけない場合でもテキスト代・資料代 (3,000 円) は申し受けますので、あらかじめご了承ください。

**新規**

**平成 22 年度農村計画研究部会 (現地研修集会) 参加申込票**

参加申込期限: 平成 22 年 8 月 27 日 (金)

所属機関	名称				ご担当者名		電話番号				
	所在地住所 (請求書等送付先)	〒	—		E-mail		FAX番号				
	県	市	町								
所属機関	職名	ふりがな	性別	CPD番号 (農業土木技術者継続教育 会会員番号)	9月9日(木)		9月10日(金)		合計	支払方法	
		参加者名			研修集会 5,000円	現地研修会 4,000円	昼食 1,000円	現金 (受付時)		指定 口座振込	

【備考】請求書、領収書の宛名にご指定があれば記載してください。その他、ご希望があれば記載してください。

- ・ご記入のない欄は、申し込み・ご希望・該当のないものとして受付させていただきます。
- ・変更の際は変更内容を追加記入して左上の囲み内を「再送」にしてお送りください。
- ・申込みされてから原則 3 日以内、最大でも 1 週間以内に確認のメールをお送りします。確認メールが届かない場合はお手数ですが事務局までご連絡をお願いします。

問い合わせ先は、農村計画研究部会現地研修集会現地運営事務局 (香川県農政水産部土地改良課)  
担当：亀井、藤重 TEL087-832-3437 (ダイヤルイン)

## 会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
7 月 12 日	大川地区土地改良協議会平成 22 年度第 1 回役員会	さぬき市
12 日 ～14 日	平成 22 年度農業集落排水技術実務者研修会	東 京 都
13 日	全国水土里情報センター打合せ	東 京 都
14 日	三豊地区土地改良協議会平成 22 年度第 1 回役員会	観音寺市
15 日	綾川流域水環境保全推進協議会総会	綾 川 町
16 日	香川県土地改良事業団体中部地区当務者会平成 22 年度通常総会・ 土地改良相談所開設	高 松 市
20 日	平成 22 年度香川県土地改良管理円滑化事業推進委員会及び香川県土地改 良換地等強化事業推進委員会	高 松 市
21 日	三豊市担い手育成総合支援協議会幹事会	三 豊 市
22 日	平成 22 年度第 1 回監事会	高 松 市
〃	平成 22 年度第 4 回観音寺市担い手育成総合支援協議会幹事会	観音寺市
22 日 ～23 日	平成 21 年度農地集団化事業研究会及び第 42 回通常総会	広 島 県
23 日	仲多度土地改良事業推進協議会平成 22 年度第 1 回役員会	善通寺市
〃	香川県ふるさと水と土保全対策推進委員会	東かがわ市
26 日 ～8月20日	「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を利用した地域の水管理」研修会	高 松 市
27 日	綾川町担い手育成総合支援協議会幹事会	綾 川 町
〃	全国農業集落排水事業推進協議会第 21 回通常総会	東 京 都
27 日 ～28 日	第 52 回土地改良団体職員研修会	東 京 都
28 日 ～30 日	平成 22 年度農村振興リーダー研修	岡 山 市
29 日 ～30 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会による農業農村整備事業に関する提案要望活動	東 京 都
30 日	中部地区土地改良協議会平成 22 年度第 1 回役員会	高 松 市
〃	土地改良施設総合対策支援事業（機能更新円滑化等対策実務者研修）にか かかる第 1 回検討部会	東 京 都
8 月 3 日	三豊地区土地改良研修会・土地改良相談所開設	観音寺市
3 日 ～ 4 日	平成 22 年度農業農村整備技術強化対策事業第 1 回ブロック研修協議会	島 根 県
5 日	香川県農業水利施設管理検討会	高 松 市
10 日	第 146 回理事会	高 松 市
10 日 ～11 日	平成 22 年度中国四国土地改良事業団体連合会技術部会	高 知 県

